

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 先生に聞いてみよう

災害医療のこと。



2022.4 Vol.53

お知らせ

住民健診を受けましょう！

お住まいの自治体から、住民健診の案内は届きましたか？
世代を問わず、自身の健康状態を把握することはとても大切。健康管理や生活習慣予防のためにも定期的な受診がおすすめです。
健診で異常を指摘された場合には、近隣の病院で再検査を受けましょう。必ずしも何かの疾患があるわけはありません。しかし、「怖い」「痛くも痒くもない(自覚症状がない)から大丈夫」と先延ばしにしていると、万が一病気が見つかった時に健診で異常を発見できた意味が薄くなってしまいます。

★事前に申し込み時期などの確認を！

健診の種別や申し込み方法などは地域によって異なります。すでに受付が終了していた場合でも、地域の「保健センター」へ問合せをすることで追加受付をしてもらえる場合があります。詳しくは各自治体のHPなどをご確認ください。



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30～16:30(小児科のみ8:00～)
- 土曜 8:30～11:30(小児科のみ8:00～)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

「昔はスタッフとキャンプに行ったなあ」と懐かしく語るキャンプ好きの郷古先生。その気分だけでも味わってもらおうと院内にキャンプ道具を設置。なお、道具はすべて郷古先生の私物です。

●表紙撮影／坂総合病院



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO

坂総合病院 広報誌「さかそう」
2022年4月1日発行

公益財団法人宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)

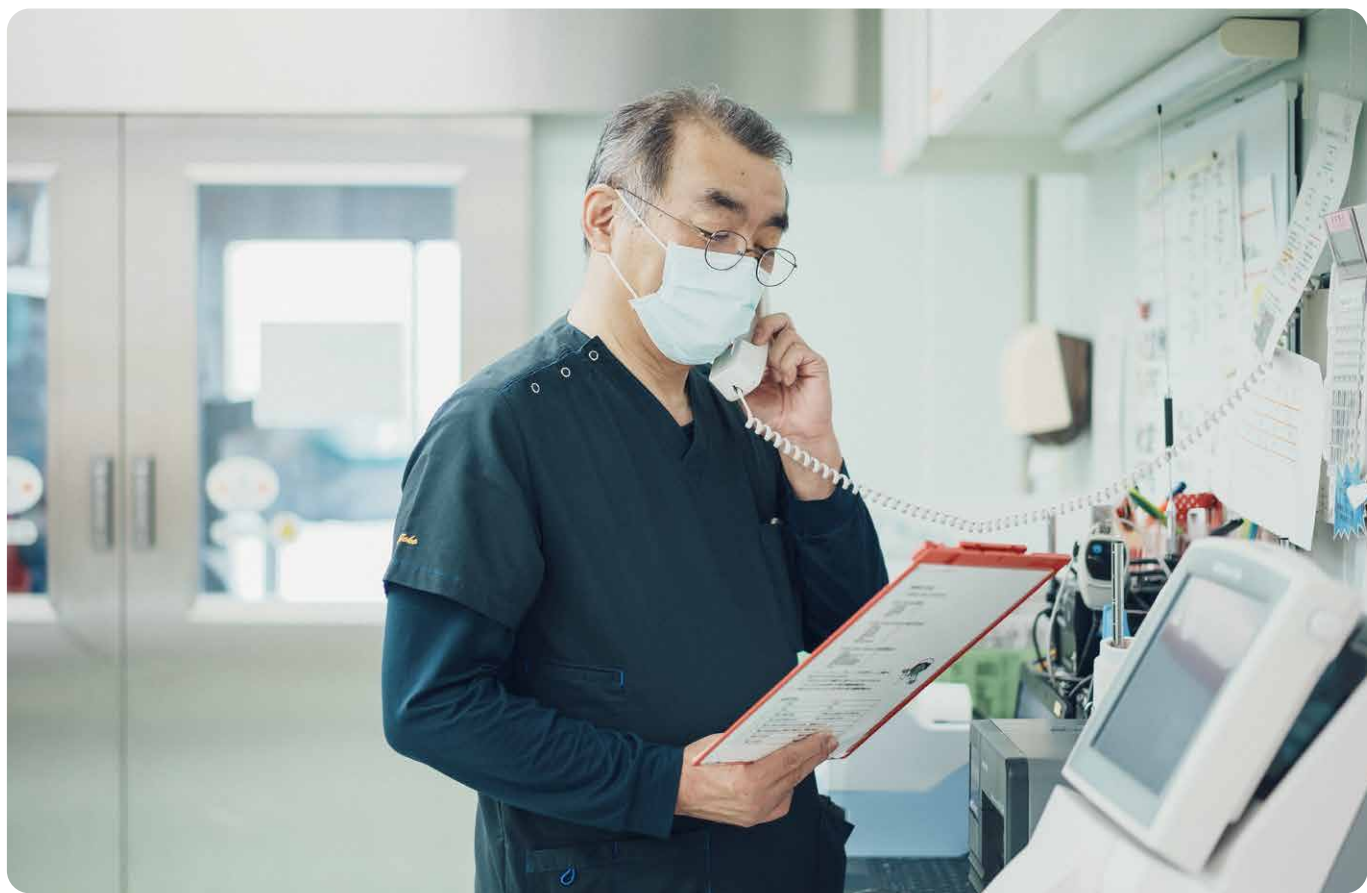


.....
毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は、「災害医療」について
ご紹介します。
.....

特集

先生に
聞いてみよう

災害医療 のこと。



塩釜市を中心に地域の
医療を支える坂総合病院。
適切な治療と高度な技術で
人々を支えています。
今回は、坂総合病院が
これまで積み重ねてきた
災害医療への取り組みと歩み
について聞きました。

郷古 親夫（ごうこ ちかお）

宮城県出身。秋田大学医学部卒業後に坂総合病院へ入職し、心臓血管外科医を経て救急科の指導医に。現在は救急診療部長を務める。医師として大切にしているのは「患者さん自身が持つ回復のプロセスを少しでも手伝うこと。かつ、よりよい支援をすること」と話す。

悔しい思いが、 災害医療の原点に

災害発生時に多くの傷病者の受け入れ拠点病院となる災害拠点病院。坂総合病院も地域医療支援病院と併せ、災害や事故発生時に対応可能な病院のひとつとして地域を支えています。災害医療の取り組みのきっかけとなったのは、2005年に多賀城市で起きた飲酒運転事故。多数の傷病者がありながら、当時は受け入れ態勢が整っていなかったことで搬送依頼を断らざるを得ませんでした。そこで感じたのは、「これまで地域における救急医療の核心的な役割を担ってきたのに」という悔しい思い。この経験から当時の若手医師たちが「緊急時にも対応できる病院になることが望ましい」と立ち上がり、大事故を想定した訓練をしようと声をあげたのです。

積み重ねた訓練の成果と 新たな課題を得た大震災

訓練は2006年からスタート。



大規模災害訓練の様子。情報の管理や伝達、共有方法の検証を目的に、スタッフが模擬患者となって行われる

夜間に起きた交通事故を想定し、多数の患者さんを受け入れる訓練から始まりました。その後、高い確率で発生するといわれ続いている宮城県沖地震を想定した訓練も加わりますが、その成果をあげたのが東日本大震災です。例えば地震発生後にすぐに災害対策本部を立ち上げ、早急にトリアージ診療（災害時に多数の傷病者が同時発生した際、緊急度や重症度に応じて治療優先順位を決めること）を行ったこ

と。これは、それまで積み重ねてきた訓練があったからこそだと思っています。その一方で、訓練は訓練でしかないと感じたことも事実です。訓練を重ねたことで得た学びを災害対応マニュアルに盛り込んでも、実際の災害時には想定外のことがたくさん起きるわけです。しかし、それもまた次なる課題としてつなげていく。災害に備え訓練を行うことは、新たな課題を見つけることでもあるのです。

対応能力を高めることで 理想の災害医療に近づく

大規模災害訓練は毎年4月に行っています。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で中止が続いていますが、訓練にはスタッフの教育も含まれているため再開を願うばかりです。災害医療は傷病者のためにありますが、まずは災害医療を提供するスタッフが頑張れないと成立しません。それでもスタッフたちは高いマインドを持って坂総合病院の災害医療チームとして集まってくれる。それは



研修医や看護師たちと議論する郷古先生。先生は高い志を持つチームひとりひとりを誇らしく感じているという

#11 アルコール消毒の正しい塗り広げ方

高山 綾子 (たかやま あやこ)／感染制御実践看護師

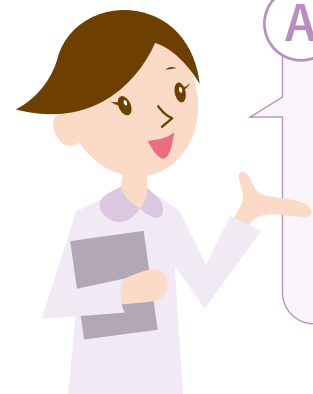
Q

アルコールでの手指消毒。手の甲や指になんとなく塗り広げていますが、正しい方法や順序はあるのでしょうか？



A

新型コロナウイルスを含む多くのウイルス・細菌に効果があるアルコール手指消毒。今では施設や店舗の入口に置かれたアルコール消毒剤を利用する機会も増えてきましたが、素早く手にすり込むだけでは不十分。1回量をしっかり手に取り、指先→手のひら→手の甲→指の間→親指と手全体に消毒液を塗り広げ、乾燥させることで消毒が完了します。

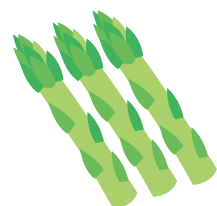


栄養手帖 ■■ ー食養室だよりー

春の旬を味わおう！

暖くなるのを待っていた春野菜が市場に出回る季節になりました。豊富に揃う春野菜の中から、おすすめの5種を紹介します。

アスパラガス



アミノ酸の一種・アスパラギン酸が豊富。アンモニアとともに余分な水分を体外に出す作用があり、むくみ解消の効果も。

春キャベツ

甘くて柔らかく、“キャベジン”とも呼ばれるビタミンUが豊富。胃腸の不調改善に効果あり。



タケノコ



便秘解消、大腸がん予防、血糖値上昇を緩やかにする効果あり。食物繊維を多いため満腹感を感じやすく、食べ過ぎ予防にも◎。

タラの芽



貧血予防や血流改善に効果がある葉酸が豊富。妊娠中の摂取は赤ちゃんの先天的リスク低減も期待できる。

セロリ



体に必要なビタミンをバランスよく含むうえ、血液を止める働きを持つビタミンKが豊富。油と一緒に摂ると吸収率UP！



支えるひとたち



第25回 宮城県民連事業協同組合 物流総合センター

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

医療材料や医薬品の購入、販売、配送を主に、商品管理や代理発注などを行う物流総合センター。課長の門間さんは、かつて坂総合病院の放射線室に勤務。その後、この職場で14年ほど仕事を続けています。「災害時や現在のようなコロナ禍では医療品の調達はとても大変。全国的に不足している商品の対応に苦慮しています」と苦労を語る門間さん。しかし「商品は患者さんが直接使用するもの。丁寧な取扱はもちろん、汚さず、壊さず、遅配・欠配で診療に影響が出ないようにすることが大切。想像力を働かせることを心がけています」と、仕事に対する真摯な姿勢を教えてくださいました。今後も「安全安心な製品を安価で提供するために、取引業者や担当者との協力しながら価格交渉にも取り組みたいです。今できる最善を尽くしていきます」と門間さんの奔走は続きます。

次号は

〈総務課〉
藤井 裕幸



管理する医薬品や医療材料は数知れず。そのひとつひとつを仕分けるためにバーコードリーダーは不可欠。門間さんを支える仕事道具です。



門間 秀人 (もんま ひでと)
宮城県民連事業協同組合 物流総合センター

山内 昂（やまうち たかし）
薬局長

入院中の患者さんに処方された内服薬や注射薬の調剤をはじめ、配薬・服薬指導、抗がん剤・高カロリー輸液のミキシング、医薬品管理など、薬にまつわる業務を行うのが薬局の仕事です。知識や技能を活かし他職種と協力した薬物治療の遂行はもちろん、患者さんに安全・安心な薬物療法を提供すること、一人ひとりに寄り添った薬の説明を行うこ

とを大切にしています。

患者さんの中には投薬により副作用が出ることも。そんな時は患者さんからしっかりと話を聞き、時には医師に薬剤の変更を提案。そうして適切な投薬方法や予防方法を探り、不安の解消へつなげていくのです。患者さんからかけてもらえる「これからも治療が続けられそうです。安心しました」「相談してよかった。ありがとうございます」の言葉はとても心に残りますね。

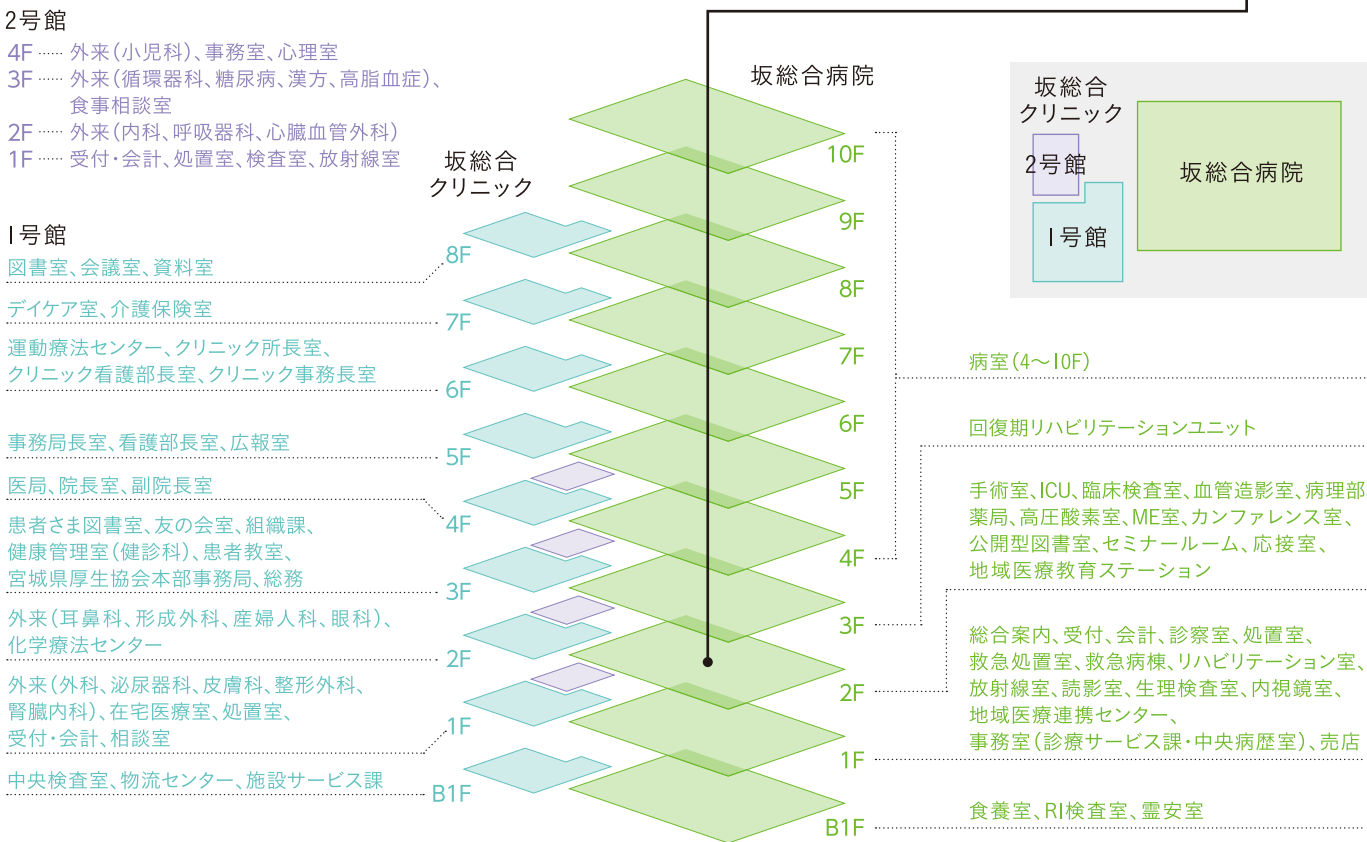
今後も服薬後の体調の変化や症状について耳を傾けることも大切にする姿勢は変わりません。患者さんが安心して治療を継続するためのアドバイスをを行うだけでなく、日々学びを重ねて効果的な薬物療法を提供することやより正確な調剤を追求する取り組みを継続していきたいです。そして、患者さんを地域全体で見守っていくような医療の面から貢献したいと思っています。

2号館

4F 外来(小児科)、事務室、心理室
3F 外来(循環器科、糖尿病、漢方、高脂血症)、食事相談室
2F 外来(内科、呼吸器科、心血管外科)
1F 受付・会計、処置室、検査室、放射線室

1号館

図書室、会議室、資料室
ダイケア室、介護保険室
運動療法センター、クリニック所長室、クリニック看護部長室、クリニック事務長室
事務局長室、看護部長室、広報室
医局、院長室、副院長室
患者さま図書室、友の会室、組織課、健康管理室(健診科)、患者教室、宮城県厚生協会本部事務局、総務
外来(耳鼻科、形成外科、産婦人科、眼科)、化学療法センター
外来(外科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、腎臓内科)、在宅医療室、処置室、受付・会計、相談室
中央検査室、物流センター、施設サービス課



連携医のご紹介 医療法人日和会 おだかクリニック 〔循環器内科・内科〕



院長
小鷹 日出夫 先生 ※写真右
(おだか ひでお)

院長
小鷹 悠二 先生 ※写真左
(おだか ゆうじ)



循環器内科・内科
医療法人日和会
おだかクリニック

〒985-0873
宮城県多賀城市中央1-16-6
TEL 022-309-4970
FAX 022-309-5444
URL <https://odakacl.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○	△
14:00 - 18:00	○	○	△	○	○	△	△

休診日/日曜、祝日
◎初診時の受付は午前11:00、
午後は17:00まで



親子二代で“きちんとした診療”を

坂総合病院には急患や重症者の入院、各科での専門的な検査治療で日頃から大変お世話になっていきます。院長の私自身、1981年に東北大を卒業した後に初期研修から2004年の春まで23年間勤務し、1991年から約10年は循環器科の科長も勤めました。また副院長である小鷹悠二は坂総合病院での初期研修を経て東北大学病院循環器内科と仙台オーブン病院で研鑽を積み、2018年の春から当院にて共に診療しています。開業後18年を経ましたが、専門とする循環器を中心としつつ、広く

内科一般のきちんとした診療を心掛けてきました。開業当初からはじめた「マイカルテ」（患者さん自身の病状を記した手帳）の配布も継続して行っており、日頃から病状把握・救急受診時などの紹介状の代わりとして日常診療に活用されています。

地域の連携医としては坂総合病院の救急対応や急性期管理での尽力が心強く、当地域に欠かせないものと思っています。要望としては、当地域で不足している脳卒中急性期と整形外科の受け入れ態勢の充実を期待しています。

坂総合病院から

親子二代に渡って当院と深いつながりがある小鷹先生。マイカルテをはじめとしたアイデアマンである院長の日出夫先生と、若さと気力あふれる副院長の悠二先生。お二人とも患者さんをしっかりと診る姿勢で診療されています。これからも連携を深めて地域の皆さまの健康維持に貢献したいと思います。